



## Compassionと珠玉の名訳(2)



### 医療法人パリアン理事長 川越 厚

松山への機上、Ken と同時通訳者の近藤千恵さんと僕の3人は近藤さんを真ん中にして、席を並べていた。

隣の席の彼女は Ken の原稿に目を通しながら、いくつかの翻訳上の疑問を僕にぶつけてきた。案の定、"Compassion"という言葉をもどのように訳せばよいか、彼女も迷っているようだった。Compassion は、僕も Ken の原稿に目を通した時、大きく躓いた言葉だった。非常に重要な言葉であることはすぐに理解できたが、その言葉を日本語に置き換えるとき、僕の持っている貧しい語学力がかえって邪魔をした。適切な訳が思い浮かばなかったばかりか、その意味することも逆にわからなくなっていた。だから彼女に意見するというようなことは、とてもではないができない相談だった。

彼女が同時通訳者として活躍していたのは、はるか昔のこと。その後彼女は「親業」を学び、その紹介と普及に働きをシフトし、「親業の近藤」として有名になってしまった。さらにホスピスケアの概念は近藤さんが同時通訳の第一線で活躍していたころ、我が国にはまだ十分普及しておらず、この言葉の訳で彼女が頭を痛めたとしても、何の不思議はない。

彼女と僕との出会いは1979年10月25日(木)から1週間にわたって東京で開催された、第9回国際産科婦人科連合(FIGO)世界大会に遡る。今にして思えばこの大会は、歴史的に記念すべき会だった。英国のステプトー博士たちが体外受精児の誕生に関する世界初の報告を行ったのも第9回 FIGO の席だったし、デンマークの放射線科医のコルスタット医師による QOL (Quality of life) の紹介があったのも、同大会の別会場だった。

彼女と出会ったのは、まさにその席上だった。近藤さんはサイマル(株)に所属する同時通訳者としてチームのリーダーの役を担い、僕は Technical advisor として彼女たちに専門用語の解説などを行って、その働きを支えた。彼女と会うのは実に30年ぶり。小柄でバイタリティーに満ちた近藤さんは年こそ僕よりも少し上だが、高校時代を同じ広島で過ごしたことや共通の知人もいることで、特別親しみを感じていた。



「Compassion はふつう、同情とか思いやりと訳されるのですが・・・」

「Com は一緒にとか共有するという意味、Passion は激しい感情ですね。」

「そうなのですが、私は思いやりという日本語では十分言い尽くせないような気がしているのです。」

彼女は困ったように、僕の顔を覗き込んだ。そして Ken と何か一言、二言、言葉を交わし、確信に満ちた声で宣言した。

「先生、わたし、Compassion を“深い思いやり”と訳そうと思っっているのですが、いかがですか。」

「それですね。すごい。僕も賛成です。」

Compassion が「深い思いやり」と訳すことが決まり、近藤さんの表情は急に和らいだ。間もなく、機は松山空港へ着陸した。(次号に続く)

## ホスピスハワイに招かれて

訪問看護パリアン  
看護部長 川越博美

昨年11月、ホスピスハワイから招待を受け、ある会に出席した。その会は毎年開かれるホスピスハワイを経済的に支援するためのパーティで、創立35周年記念の年にあたり、NA HOA MALAMA A JOURNEY TO JAPAN と名打って開かれたパーティだった。ホスピスハワイを支援しようとする地域の人や企業の人々がパーティ券を買ってパーティに集っていた。ドレスアップをして、ワインから始まるフルコースの食事をいただき、用意されたプログラムを楽しみながらひと時を過ごした。

ここで贈られた品物はオークションにかけられ、売上げをホスピスハワイの運営のために使うそうだ。私がお土産に持参した1万円ほどの樽酒が30万円？で落札されたとか。寄付も受けつけており、大口では企業から1000万円の寄付があったとか。パーティでは、ホスピスハワイの活動をPRしたり、その年の特に記憶に残る患者さんの生きざまと遺族の話をビデオにおさめ紹介したりするなど、ホスピスとしての地域へのアウトリーチの活動の一つになっていた。またホスピスハワイを物心ともに支えた個人や企業も表彰されていた。

そのパーティで、心にのこる患者さんとして紹介された故 Frank Tanabe さんは日系の方で、パーティには遺族である奥さまの田辺節子さんが出席されていた。私と席が隣合わせになり、いろいろお話を伺うことができた。もちろん



博美先生(左)と田辺さん

日本語で。ご主人の思い出や、日本人である奥さまのハワイでの生活、ホスピスハワイの支えで最期のときを家で看たことなどなど…。田辺さんは「来年、姉の1周忌に東京に行くので、川越さんに連絡しますね」とおしゃって名刺を交換した。日本流に言えば社交辞令だろうとも思ったが、教養豊かで、穏やかな方という印象を受け、またお目にかかりたい方だと出会いを感謝した。



ホスピスハワイのパーティ  
でのケンさん夫妻

例年になく大雪に見舞われた今年2月、田辺さんから電話をいただいた。「今、東京にきています。東京は寒いので早くハワイへ帰りたいわ。ホスピスハワイと同じ働きをされているパリアンに是非寄付をさせて下さい」と。社交辞令かもしれないと思った私は申し訳ないという思いと感謝の気持ちで一杯になった。私たちパリアンとは直接何の関係もないのに、パリアンの働きに寄付をしてくださる。その心の深さにただただ頭が下がる思いだった。

パリアンのボランティア活動のために大切にに使わせていただくことを約束して寄付を頂戴した。日本を離れる前にも「これから帰ります。またお目にかかりましょう」と電話をいただき、つながりがより深まった思いがした。ホスピスハワイはパリアンにとって心からの友達。ホスピスハワイからホスピス活動を地域に広めることの大切さとその方法を学ぶことができたことと田辺さんとの出会いが、今回のハワイ旅行の大きな収穫だった。

## 2014年度パリアンの実習・研修受け入れ

パリアンでは毎年、研修医の研修、医学生・看護学生の実習を受け入れています。在宅ホスピスケアの現場で実習生たちは多くの学びを得ていきますが、スタッフにとっても実習生からの質問や発表による深い気づきが多く、実りある実習となっています。今年度は下記の受け入れを予定しています。

期間	大学(病院)・実習名	人数
2014/5/12~6/27	有明医療大学看護学部 4年・看護実習	6名×3回(各2週間)
2014/7/28~8/1	東京大学医学部・公衆衛生学実習	4名
2014年8・9・10・12月 2015年1月	帝京大学医学部附属病院 研修医 地域保険医療研修	5名(各1ヶ月)
2014/8/6, 7	帝京大学大学院 公衆衛生学研究科 終末期医療実習	7名
2014/8/18~8/22	帝京大学医学部 公衆衛生学実習(終末期医療-在宅ホスピスケア)	4名
2014/10/20, 22, 24	東京医科歯科大学 大学院保健衛生学研究科	未定

## パリアン勉強会

### 「アセトアミノフェンについて」

講師：帝京大学医学部附属病院 麻酔・ペインクリニック科 佐々木翼先生

アセリオ（アセトアミノフェン注射薬）を使っている末期がん患者さんをパリアンでケアするにあたり、アセトアミノフェンの作業機序や効果的な使用方法などお話いただいた。

### 「在宅医療で薬剤師ができること」

講師：株式会社フロンティアファーマシー フロンティア薬局浅草橋店 原田 寿様

在宅調剤薬局の制度や麻薬管理のことをお話してくださった。講義の後、訪問薬剤師さんと日常の連携について意見交換し、緩和ケアチームとしての絆を深めることができた。

## ケース・カンファレンス

### テーマ：在宅ケア開始から3日で亡くなった壮年期がん患者と家族のケアに関する事例

退院時の容体は予想以上に顔色が悪く、腹水がたまって、血圧80台・傾眠状態であった患者を、年若い母が一人でケアするという状況のなかで、看護師、ケアマネジャー、ヘルパーがどう関わっていただければよかったかを検討する必要がある。

本事例のような死が迫っている患者に対するケアマネジメントは、患者の病状を把握でき、今後のことが予測できる医療職である訪問看護師が担うべきで、その情報をケアマネジャーに伝えて、必要なサービスマネジメントをお願いすることが、チームとしての最善の対応ではなかったか。チーム内の多職種が情報を交換し、コミュニケーションをスムーズにして、患者のためのチームメンバー一人ひとりが役割を果たすことが必要。

限られた情報・時間の中で“患者・家族を第一にする対応”はどうあるべきか、予測される症状や優先順位を見極めて、ケアマネジメントすることの難しい判断が求められる事例であった。

## パリアンは家で過ごしたいがん患者様とご家族をチームで支援しています

ご自宅で過ごしたいと願っている方は、是非ご相談ください。

サービス提供区域：墨田区・江東区・江戸川区・中央区  
千代田区・葛飾区にお住いの方

### 医療法人社団パリアン

〒130-0023 東京都墨田区立川2-1-9 KHハウス3階

まずは、相談日をご予約ください

(電話) 03-5669-8302 (FAX) 03-5669-8310

(予約受付時間) 月～金 9:30～16:00

#### ●病院の関係者様へのお願い

ご自宅で過ごしたいと願っている患者様とご家族様がいらっしゃいましたら、上記パリアンをご紹介しますようお願い申し上げます

## あのスカイツリー近くに小児科開院準備中

医療法人社団パリアンでは、今年9月に東京スカイツリーの近くに小児科診療所を開院するための準備を進めています。詳細は後日お知らせします。



## スタッフ紹介 第1回 医師の巻

①略歴②星座③家族構成④趣味⑤一言

**川越 厚** (クリニック川越院長)

①産婦人科勤務医、病院管理者、在宅ホスピス医②牡牛座③妻・子供2人④チェロ、将棋、秘湯探索⑤数か月前幼稚園時代の友達と60年振りに再会。当時の楽しかった時を思い出しました。人生って、宝を積んでいくことかな、とうれしく思いました。

**中島一光** (クリニック川越副院長)

①名古屋大学卒、米国ベイラー医科大学留学、国立長寿医療研究センター②蠍座③妻・子供2人④ゴルフ、旅行、ドライブ⑤パリアンに来て病院医療と在宅医療の違いをしっかりと認識できました。今後も患者さんを中心とした在宅ホスピスケアを進めてまいります。

**川越 信**

①東京大学小児科、亀田総合病院、虎の門病院、帝京大学、同愛記念病院②山羊座③妻・子供3人④山城歩き、広島カープ応援、ラグビー⑤9月にスカイツリー近くに小児科診療所をオープンします。お子さんのことでお困りでしたら、何なりとご相談ください。

**佐々木 翼**

①開成卒、東京医科歯科大学医学部卒、現在帝京大学医学部附属病院麻酔科②牡牛座③一人っ子④顧問を務める部活の学生と交流すること、食べ歩き⑤月・火は麻酔、水は在宅緩和ケア、木・金はペインクリニック、主に木に漢方を教え、ICUでの当直もするというように、仕事では五足のわらじをはいています。

**森 竜久**

①帝京大学腫瘍内科学講座、大学院生②射手座③独身④様々⑤普段は大学病院で腫瘍内科医をしています。パリアンでは週に一度の勤務ですが、よろしくお願ひします。

**横田瑞穂**

①国家公務員共済組合連合会九段坂病院研修、東京都立大塚病院シニアレジデント②牡牛座④旅行、食べ歩き⑤2014年5月より木曜から火曜勤務に変わりました。今後ともよろしくお願ひします。

**品川有子**

①帝京大学産婦人科学講座、非常勤②乙女座③夫、子供2人④旅行、読書⑤お産が大好きな産婦人科医です。研修での厚先生の医療に心酔し、働かせていただく事になりました。よろしくお願ひいたします。



左から佐々木翼先生、川越 信先生、中島一光先生、川越 厚先生



森 竜久先生 横田瑞穂先生 品川有子先生

## 6月のボランティア活動予定

- ・訪問ボランティア：6月13日(金)午後2時30分～
- ・サロン・ド・パリアン：6月6日、13日、20日、27日
- ・命日カードボランティア：6月19日(木)午前10時～
- ・手作りボランティア：6月24日(火)午後1時～3時
- ・事務ボランティア：6月21日(土)午後4時～



## 編集後記

パリアン通信6月号から、「スタッフ紹介」をシリーズとして掲載することになった。第1回は、クリニック川越の「医師」を紹介した。掲載内容は、記入内容を統一するため、①略歴②星座③家族構成④趣味⑤一言に限定して書いていただくことにした◆だが、経験豊富な先生方ばかりなので①の略歴はかなりのボリュームとなることが予想されることから、「超略歴」としていただいた。また⑤の一言も50字以内と制約を設けさせていただいた。その甲斐あって、想定内の変更で紙面に収まった◆先生方は書きづらかったと思うので、この場を借りてお詫び申し上げます。編集者としては、つらい一面である◆7月号は訪問看護パリアンの「看護師の巻」を予定。